

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自民クラブ

氏名 長谷川 ひろゆき

項目	研修費		支出内容
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
1	5 / 14	28,610	廣瀬行政研究所セミナー旅費・宿泊費 (東京都豊島区) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
1-3	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 19300円 宿泊代 9310円
2	7 / 8	225,390	JAMSTEC役員会・研修会 旅費・宿泊費 (東京都千代田区) 日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載
2-2	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 宿泊代 ※旅費上限額 54860円
2-4	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 40960円
2-5	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 40960円
2-7	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 40960円
2-8	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 31820円 宿泊代 15830円
3	9 / 24	32,050	海洋研究開発報告会「JAMSTEC2025」研修 旅費 (東京都) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
3-8	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇄東京 32050円
4	10 / 27	28,920	第19回地域医療政策セミナー旅費 (東京都千代田区) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
4-8	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28920円
5	1 / 21	35,410	地方議員研究会セミナー 旅費 (東京都) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
5-3	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 26100円 宿泊代 9310円
6	1 / 29	37,165	地方議員研究会セミナー旅費 (東京都) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
6-3	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 26240円 宿泊代 10925円
7	2 / 12	41,380	八戸ふるさと交流フォーラム旅費 (東京都) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
7-8	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28780円 宿泊代 12600円
	/		
小計		428,925	備 考
合計		428,925	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 自民クラブ

氏 名 長谷川 ひろゆき

項 目	研修費		支 出 内 容
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	
8	1 / 23	38,880	みらい退役講演会旅費 (神奈川県横須賀市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
8-8			JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28780円 宿泊代 10100円
9	11 / 26	336,476	調査視察 旅費・宿泊費 (兵庫県神戸市) (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
9-1	/		航空券 三沢⇄羽田⇄伊丹 46306円 宿泊代 12880円
9-2	/		航空券 三沢⇄羽田⇄伊丹 40720円 宿泊代 23300円
9-3	/		新幹線・JR 八戸⇄東京⇄神戸 52860円 宿泊代 9500円
9-5	/		航空券 三沢⇄伊丹 40720円 宿泊代 23300円
9-5	/		空港リムジンバス 2400円
9-7	/		航空券 三沢⇄伊丹 40720円 宿泊代 23300円
9-8	/		航空券 花巻→伊丹 20470円
10	1 / 26	97,040	JAMSTEC研修会他 (日程、視察先等は調査視察等届出書等に記載)
10-1	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 42520円 宿泊代 12800円
10-8	/		JR乗車券・特急券 八戸⇄東京 28920円 宿泊代 12800円
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		472,396	備 考
合 計		901,321	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年4月8日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當 正男



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 日當 正男 議員
- 2 期間 令和7年5月14日(水)～令和7年5月15日(木)
- 3 場所 東京都豊島区
- 4 目的及び内容 議会運営マスター講座
- 5 支出可能額(上限額) 55,640円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅費額計算書

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	5/14	八戸駅発	14:16	区分	基数	単価	金額	備考	
き	//	池袋駅着	17:38	早見表					
帰	5/15	池袋駅発	17:20						
り	//	八戸駅着	21:09						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		644.2k	10,010	18,000	八戸⇄池袋 (往復割引)
				急行料金		2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						急			
				特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃					
				バス運賃					
				宿泊料		1	13,900	13,900	5/14 東京都内泊
						小計		55,640	
		合計 (小計×人数)		55,640	1名				

議会運営マスター講座 行程

日程：令和7年5月14日（水）～ 15日（木）
 行先：東京都豊島区

【日當 正男 議員】

月 日	行 程	宿泊地
5月14日 (水)	14:16発 八戸 → (はやぶさ24号) → 17:04着/17:13発 東京 → (JR山手線) → 17:38着 池袋	東京都内泊
5月15日 (木)	10:00～17:00/17:05発 八戸区民センター (講座) → (移動) → 17:15着/17:20発 池袋 → (JR山手線) → 17:44着/18:20発 東京 → (はやぶさ37号) → 21:09着 八戸	

令和7年6月3日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當正男



調査視察等報告書

令和7年5月1日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 日當正男 議員
- 2 期間 令和7年5月14日(水)～令和7年5月15日(木)
- 3 場所 東京都豊島区
- 4 行程 5月14日 八戸～JR～東京～JR～池袋
5月15日 池袋～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 28,610円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-3A
領収書等貼付欄					

領 収 証

日當 正男 様

2025年 4月22日

金19,300円

ただし、5/14~15 八戸・東京往復乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

鮫401 No.000004

印

領収書
(RECEIPT)

日當 正男 様

¥9,310 -

但し、宿泊代、他

上記正に領収致しました。



日付: 2025/05/14
担当: 17
No. 17898-1

東横INN池袋北口 I
〒171-0014
豊島区池袋2-50-5

TEL 03-5960-1045

FAX 03-5960-1046

株式会社東横イン
T8010801008365
10%対象

¥9,310

収入印紙

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 日當 正男

項目	研修費			
年月日	令和7年5月15日（木）			
場所	としま区民センター （東京都豊島区東池袋1-20-10）			
相手方	主催：（株）廣瀬行政研究所 （東京都文京区千石2-34-6）			
参加者氏名	日當 正男			
目的・内容・結果等	講師：廣瀬和彦 （株）廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事 内容 ○議長・委員長のための議会運営 ○議会運営委員会の役割と権限			
経費	費目	内容	金額	備考
	参加費	セミナー参加費	25000円	
	交通費		19300円	
	宿泊費		9310円	
			円	
	合計		53610円	
備考				

議会運営マスター講座 研修

・日時 令和7年5月15日(木) 10:00~13:00 14:00~17:00

・場所 としま区民センター
(東京都豊島区東池袋 1-20-10)

・主催 (株) 廣瀬行政研究所

・参加者 日 當 正 男 (自民クラブ)

・研修概要

講 師 廣 瀬 和 彦
(株式会社廣瀬行政研究所代表取締役、元全国市議会議長会法制参事)

内 容

「議長・委員長のための議会運営」 10:00~13:00

1.議長・委員長の権限

(1) 概略

(2) 秩序保持権

① 議員に対するもの(地方自治法 129 条)

<委員に対するもの・秩序維持権と懲罰の違い・発言の制止と禁止の関係・議員への退場命令における問題・議員に対するもの(地方自治法 131 条)・議員に対するもの(地方自治法 137 条)・委員に対するもの・横浜地裁平成 16 年 4 月 28 日判決①・横浜地裁平成 16 年 4 月 28 日判決②>

② 傍聴者に対するもの(地方自治法 130 条)

<傍聴者に対するもの(委員会)>

(3) 議事整理権

(4) 事務統理権

(5) 議会代表権

<委員会代表権・訴訟の代表権>

2. 通告書と通告外、議題外の発言

(1) 質問通告とは

<委員会質疑における通告>

(2) 文書通告の必要性

(3) 質問の範囲を超えた通告書・通告外の発言の取り扱い

<通告記載例①>

(4) 議題外の発言

3. 不穏当・不規則発言

(1) 意義

(2) 不穏当発言の判断は自治体によりさまざま

(3) 不規則発言

(4) 不穏当発言の該当基準

(5) 発言取消し方法

(6) 発言取消し留保宣言の活用

(7) 議長・委員長の不穏当発言に対する対応手法

<参考条文>

(8) 発言取消命令が行える期間

(9) 議長による発言取消命令の効力

<愛知県議会発言取消命令訴訟①（概要）・愛知県議会発言取消命令訴訟②（最決平成 30.4.26）・愛知県議会会議録（政治団体に関する質問）・最決平成 30.4.26③>

(10) 閉会中における発言取消

(11) 発言取消しと当該発言に対する議員の責任の関係

(12) 議場外における不穏当発言の取扱い

4. 傍聴人

(1) 会議公開の原則

(2) 傍聴者に対する権限（地方自治法 130 条）

5. 動議・議事進行発言

(1) 意義と提案方法

(2) 議事進行上の発言

(3) 動議の議題の時期

<行政実例昭和 24.12.1>

(4) 動議と日程追加

(5) 緊急動議

(6) 先決動議の競合

<先決動議の競合の具体例・先決動議 3 つの基準以外の例外基準>

6.議事日程作成

- (1) 意義と条文
- (2) 議事日程の作成権者
- (3) 議事日程への掲載事項
- (4) 日程への案件等の掲載（先議との関係）
- (5) 議事日程の記載方法
- (6) 日程事項の掲載順序
- (7) 議事日程の配布時期
- (8) 公開中に提出された議案と議事日程
- (9) 一般選挙後の初議会における議事日程の配布と日程掲載事項
- (10) 会期最終日において議事日程の変更が否決された場合の取扱い
- (11) 議事日程の削除・訂正
- (12) 議会の構成に関する事件と日程追加の是非
- (13) 延会になった事件の次回の議事日程での通扱い
- (14) 議事日程延期の動議と議事延期の動議

7.議会だよりと議長の権限

8.議長・委員長の発言と裁決権

<議長の委員会出席と発言>

9.表決権と棄権の捉え方

- ①表決等の意義
- ②議案の提出者等による討論の是非
- ③議案の賛成者等
- ④議案提出者と討論・表決
- ⑤表決権を有する者
- ⑥修正案における表決溜意点
- ⑦裁決権

<裁決権と現状維持の原則>

10.選挙・互選

<選挙の方法・議長選挙における所信表明の状況・互選>

「議会運営委員会の役割と権限」 14:00～17:00

1. 議会運営委員会の所管と権限

- (1) 意義
- (2) 議会運営委員会の設置状況と任期
<議会運営委員会の設置状況と任期（町村）>

- (3) 議会運営委員会定数の決定手法
- (4) 議会運営委員会定数（市議会）
- (5) 議会運営委員会の位置づけ
 <特別委員会や事実上の常任委員会としなかった理由・議会運営委員会の常任委員会に対する優越性>

具体的な議会運営委員会の所管事項

- ①議会の運営に関する事項
 - ②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
 - ③議長の諮問に関する事項
 - (6) 議会に提出される議案の議運での取扱い
 - (7) 議会運営に関する事項と議長の諮問機関に関する事項のすみわけ
 - (8) 議会費の所管
 - (9) 議員定数条例の所管
 <議員定数所管委員会例>
 - (10) 議員報酬の所管
 - (11) 議員定数と議員報酬の所管が明確に議会運営委員会でない理由
 - (12) 棄権者がいる場合の表決
- <議会運営委員会における閉会中の継続審査・議会運営委員会における閉会中の継続調査・議会運営委員会の委員長報告・議会運営委員会における議事日程の取り扱い>

2.議事日程の作成権者・議会運営委員の選出手法と委員外議員の活用
 <会派離脱との関係・交渉会派、非交渉会派・交渉会派規定例・院内交渉会派（参議院）・町田市議会申し合わせ・平成 29 年 8 月 10 日東京地裁判決抜粋（渋谷区議会）・会派離脱と委員の辞職・弘前市議会議会運営委員会申し合わせ事項・委員外委員の活用・議会運営委員会への代理出席・閉会中による委員長、副委員長欠席の場合の取り扱い・議運における委外議員の派遣>

3.議会運営委員会の答申と法的拘束力

<議運の答申・先例、議運申し合わせの意義と必要性・先例等の効力と取り扱い・議運申し合わせを遵守しない場合の取り扱い・発言時間の制限・東京地裁平成 28 年 6 月 30 日判決抜粋①・東京地裁平成 28 年 6 月 30 日判決抜粋②・議運決定に対する異論の取り扱い・先例、議運決定における留意点・議長と議会運営委員会の関係・議運決定と議長の考え方が異なる場合の具体例・議運による懲罰的措置をめぐる考え方・懲罰の種類・懲罰動議の取り扱い・令和 2 年 11 月 25 日最高裁判決・令和 2 年 12 月 17 日総務省通達・根拠条文・事実上の措置（議員辞職勧告決議等・名古屋高裁令和 4 年 11 月 18

日判決抜粋>

4.議長等と兼職の是非

<議長、副議長の委員長、委員への就任・尾張旭市議会運営委員会申し合わせ事項>

5.議会運営委員会と常任、特別委員会、協議等の場の関係

(1) 委員会との関係

(2) 協議等の場の関係

<議会運営委員会と会派代表者会のすみわけ・議長等議会の人事の決定の取り扱い>

総括

今回の議会運営マスター講座（議長・委員長のための議会運営 議会運営委員会の役割と権限）は、改めて市議会の議会運営について勉強するために参加した次第である。

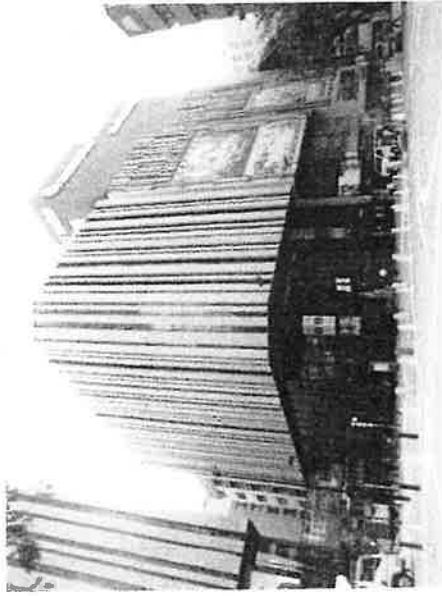
その中で、地方自治法において議長は議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表すること、委員長は委員会の議事を整理し、秩序を保持することを改めて理解したところです。普段は何気なく行ってきましたが、こうしてセミナーを受講し、その重みを感じたところです。

議会運営委員会においても会派間や議員間における議会運営の調整を行うことを目的として、議会運営を円滑にするためまた議長の諮問機関としての役割等を果たすために設置することができる唯一地方自治法 109 条に基づく常設の委員会であること改めて理解したところです。また議会運営委員会は各地方自治体によって、任期や委員定数、委員長・副委員長の選任などが違っていることに驚いた。特に議長が議会運営委員会の委員長兼務、副議長が副委員長兼務のところもあるようである。また、議長経験者が議長を退任後次期委員長に副議長経験者が退任後次期副委員長のところも見受けられた。さらに議長の諮問に関する事項は議長権限かそれと密接に関係のあるものに限定するのが理論上の要請→議長の権限で法的には処理が可能であるが、円滑な議会運営のため議会運営委員会で協議・調整することが適当であることが、よく理解できた。その他にもいろいろと勉強になった次第である。

今後は今回のセミナーで得た知識等を活かし、公正そして円滑な議会運営に努め、八戸市の更なる発展、また市民の福祉の増進に努め、議員活動に務めていきたい。

今回の研修は大変有意義なセミナーであった。

議会運営マスター講座（令和7 5/15 in東京）



会場建物



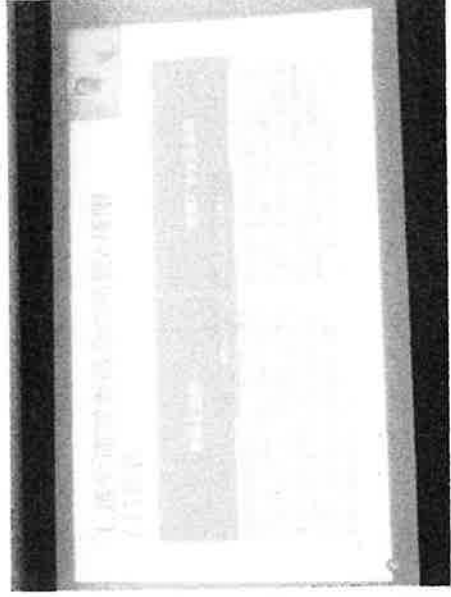
会場教室



講師



セミナー(パワーポイント使用)



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年6月17日

会派名 自民クラブ
 代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
 坂本美洋
 藤川優里
 小屋敷孝
 岡田英



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 立花敬之議員、坂本美洋議員、
 藤川優里議員、小屋敷孝議員、
 岡田英議員
- 2 期間 ○立花議員、藤川議員、小屋敷議員
 令和7年7月8日(火)
 ○坂本議員、岡田議員
 令和7年7月8日(火)～9日(水)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 研修会
 「深海巡航探査機うらしまの取組について」
 「JAMSTECの最近の状況について」
- 5 支出可能額(上限額) 232,600円
 【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

旅 費 額 計 算 書

【立花議員、藤川議員、小屋敷議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎						
行	7/8	八戸駅発 11:07	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考			
き	7/8	新橋駅着 14:20	早見表							
帰	7/8	新橋駅発 19:54								
り	7/8	八戸駅着 23:07								
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋（往復割引）	
				急行料金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
							2	△200	△400	閑散期割引(7/8)
				急						
				特別車両料金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃						
				バス運賃						
宿泊料										
小 計						40,960				
合 計（小計×人数）						122,880	3名			

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日 程：令和7年7月8日（火）

・ 場 所：東京都千代田区

【立花議員、藤川議員、小屋敷議員】

月 日	行 程
7月8日 (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 東京 → (JR東海道本線) → 新橋 → 14:20着/14:25発 (移動)</p> <p>14:35着/16:10発 → JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 文部科学省 → 16:25着/17:10発 (移動) → 新橋亭 → 17:25着/19:20発 (15:00~16:00 役員会・研修会) (16:30~17:00 表敬訪問) (17:30~懇親会)</p> <p>19:45着/19:54発 → (移動) → 新橋 → (JR京浜東北・根岸線) → 東京 → 19:58着/20:16発 (はやぶさ41号) → 八戸 → 23:07着</p>

旅 費 額 計 算 書

【坂本議員、岡田議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	7/8	八戸駅発	11:07	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	7/8	新橋駅着	14:20	早見表					
帰	7/9	新橋駅発	11:25						
	7/9	八戸駅着	15:04						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	閑散期割引（7/8, 7/9）
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃					
				バス運賃					
				宿泊料		1	13,900	13,900	東京都内泊（7/8）
小 計							54,860		
合 計（小計×人数）							109,720	2名	

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

【坂本議員、岡田議員】

・日程：令和7年7月8日（火）～9日（水）

・場所：東京都千代田区

月日	行程	宿泊地
7月8日 (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 14:08着/14:17発 → 東京 → (JR東海道本線) → 14:20着/14:25発 → 新橋 → (移動)</p> <p>→ 14:40着/16:10発 → JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 16:25着/17:10発 → 文部科学省 → (移動) → 17:25着 → 新橋亭 → (17:30～懇親会)</p> <p>(15:00～16:00 役員会・研修会) → 16:30～17:00 表敬訪問 (17:30～懇親会)</p>	東京都内泊
7月9日 (水)	<p>10:45発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 11:10着/11:25発 → 新橋 → (JR東海道本線) → 11:28着/12:20発 → 東京 → (はやぶさ21号) → 15:04着 → 八戸</p> <p>(9:30～10:30 研修会)</p>	

令和7年10月21日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 立花敬之
坂本美洋
藤川優里
小屋敷孝
岡田英



調査視察等報告書

令和7年6月17日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 立花敬之議員、坂本美洋議員、
藤川優里議員、小屋敷孝議員、
岡田英議員
- 2 期間 ○立花議員、藤川議員、小屋敷議員
令和7年7月8日（火）
○坂本議員、岡田議員
令和7年7月8日（火）～9日（水）
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 225,390円
- 6 概要 別紙のとおり

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日 程：令和7年7月8日（火）

・ 場 所：東京都千代田区

【立花議員、藤川議員、小野議員、小野議員】

月 日	行 程
7月8日 (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 14:08着/14:17発 東京 → (JR東海道本線) → 14:20着/14:25発 新橋 → (移動)</p> <p>→ 14:35着/16:10発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 16:25着/17:10発 文部科学省 → (移動) → 17:25着/19:20発 新橋亭 → (17:30～懇親会)</p> <p>→ 19:45着/19:54発 新橋 → (JR京浜東北・根岸線) → 19:58着/20:16発 東京 → (はやぶさ41号) → 23:07着 八戸</p>

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・ 日程：令和7年7月8日（火）～9日（水）

・ 場所：東京都千代田区

【坂本議員、岡田議員】

月 日	行 程	宿泊地
7月8日 (火)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 14:08着/14:17発 東京 → (JR東海道本線) → 14:20着/14:25発 新橋 → (移動)</p> <p>14:40着/16:10発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 16:25着/17:10発 文部科学省 → (移動) → 17:25着 新橋亭 (15:00～16:00 役員会・研修会) (16:30～17:00 表敬訪問) (17:30～懇親会)</p>	東京都内泊
7月9日 (水)	<p>10:45発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 11:10着/11:25発 新橋 → (JR東海道本線) → 11:28着/12:20発 東京 → (はやぶさ21号) → 15:04着 八戸</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124446

2025年10月10日

岡田 英 様

金額 ¥56120

但し JR 宿泊代 ¥12 (7/8~7/9)

10%対象(税込) 56120 0%対象

内消費税 510.1円 上記の金額正に領収致しました。



現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>
クレジット	<input type="checkbox"/>

北日本トラベル
登録番号 T1420001005756

〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151代



扱者印



旅費の支出額が上限額を超えたため、
上限額54,860円を計上する。

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

岡田 英 様

令和7年7月3日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 三郎

青森県八戸市廿三日町九

電話 0178-22-5151

担当 [Redacted]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年7月8日～7月9日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 56,120 円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960		40,960	7/8～9, 八戸～東京(往復)
宿泊代	1	15,160		15,160	相鉄フレッサイン新橋日比谷口 食事なし
明細金額小計				56,120	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				56,120	消費税10% 5,101円

特記事項

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-4
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124808

2025年10月10日

藤川 優里 様

金額	¥	40960
----	---	-------

貼 収
用 入
印 紙

但し JRA 12 (7/8)
 10%対象(税込) 40960円 0%対象
 内 消費税 2723 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
振込	<input type="checkbox"/>
クレジット	<input type="checkbox"/>



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

藤川 優里 様

令和7年7月8日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 正
青森県八戸市廿三日町
電話 0178-22-5151
担当 [Redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年7月8日～7月8日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 40,960 円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960		40,960	八戸～東京(往復)
明細金額小計				40,960	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				40,960	消費税10% 3,723円

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-5
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124806

2025年10月10日

小 屋 敷 孝 様

金額 ¥40960

但し JR代 ¥12 (7/8)

10%対象(税込) 40960円 0%対象

内消費税 ¥723 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

小屋敷 孝 様

令和7年7月8日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 正
青森県八戸市廿三日町
電話 0178-22-5151
担当 [Redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年7月8日～7月8日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 40,960円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960			40,960	八戸～東京(往復)
明細金額小計					40,960	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					40,960	消費税10% 3,723円

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-7
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124807

2025年10月10日

立花 敬之 様

金額	¥	4	0	9	6	0
----	---	---	---	---	---	---

但し JR代々12 (7/8)

10%対象(税込) 40960円 0%対象
 内消費税 27+3 円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
 TEL (0178) 22-5151代

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

立花 敬之 様

令和7年7月8日
北日本トラベル株式会社
店長 大久保 正
青森県八戸市廿三
電話 0178-22-5151
担当 [Redacted]
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年7月8日～7月8日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 40,960 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	40,960			40,960	八戸～東京(往復)
明細金額小計					40,960	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					40,960	消費税10% 3,723円

特記事項

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-8
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年 7月 3日

坂本美洋 様

金31,820円

ただし、乗車券類等
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000004

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-8
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124448

2025年10月10日

坂本美洋 様

金額	¥15,830
----	---------

貼 収
用 入
印 紙

但し 宿泊代 ¥12 (7/8)
 10%対象(税込) 15,830円 0%対象
 内 消費税 1,439円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル
 登録番号 T1420001005756
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDEビル1F
 TEL (0178) 22-5151(代)



扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

坂本 美洋 様

令和7年6月21日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 三子

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名
ご旅行期間 令和7年7月8日～7月9日
ご旅行方面 東京都
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 15,830 円

明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
宿泊代	1	15,830		15,830	相鉄フレッサイン新橋日比谷口 朝付き
明細金額小計				15,830	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				15,830	消費税10% 1,439円

特記事項

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会報告書

【令和7年7月8日研修会「深海巡航探査機うらしまの取組について」】

- ◎日時 令和7年7月8日（火）午後3時30分～4時00分
◎場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
◎講師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 技術研究開発部門 中谷 武志 氏
◎出席者 坂本美洋 立花敬之 小屋敷孝 藤川優里 岡田英

1 研修会概要

(1) 深海調査の重要さと難しさ

- ・地上の地図は細かい地図があるが、深海は直接測ることができないため地上のような細かい地図を作るのが難しい。自律型海中探査機（AUV）により前進、ターンをしながらより細かい地図を作っていく。研究船での地図よりもピンポイントで詳しい地図ができるようになる。

(2) AUV「うらしま8000」の開発

- ・課題→7000m以深の探査能力の確保
- ・目標→日本海溝の最大水深が約8000mであり、最大潜航深度を8000mに設定。
- ・開発方針→運用実績のある「うらしま」を改造し、従来より潜入時間を短縮。
- ・技術課題の設定→水深8000mの超高压に耐える設計。搭載機器の絞り込み。各深度での機体の浮量変化を把握。大姿勢角における制御で速度向上を図る。
- ・うらしま8000諸元→サイズ 幅1.3m×全高1.5m×全長10.7m 空中重量7.0t 最大深度8000m 巡航速力2.5knot 電源 リチウムイオン電池45kWh

(3) 改造後の海域試験

- ・YK24-18 うらしま8000初航海→6回の試験潜航により、1000m海域での音響通信測位機能、航行制御機能、観測機能を確認。
- ・YK25-02 うらしま8000第2航海→6回の試験潜航により、深度6500m、電気ノイズ対策の効果、実践的な測線での安定した航行確認。

(4) 今後の計画—日本海溝調査

- ・FY2025試験航海の予定→うらしま8000の性能確認試験を課題とする。深度8000mにおいて各搭載機器の動作、機体の総合的な機能確認を行った上、日本海溝にて調査潜航を行う。

※ 研修会の開催に先立ち、午後3時から3時30分まで、我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟役員会が開催され、今年度の事業報告、事業計画（案）、役員（案）、役員の増員及び新設について、原案のとおり可決。その後、研修会開催。

また、研修会終了後、国立研究開発法人海洋研究開発機構の方々と文部科学省を表敬訪問

【令和7年7月9日研修会「JAMSTECの最近の状況について」】

- ◎日時 令和7年7月9日（水）午前9時30分～10時30分
- ◎場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構 東京事務所
- ◎講師 国立研究開発法人海洋研究開発機構 監事 菊池 聰 氏
- ◎出席者 坂本美洋 岡田英

1 研修会概要

(1) 目的

海洋研究開発機構は海洋の総合的な機関として新たな科学技術で海洋立国日本の実現を支え、国民、社会、そして地球の持続的発展、維持に貢献することを目指している。今回の研修は監事の菊池氏より同機構の概要、最近のトピックスをご説明いただき今後の機構の活動に寄与すべく理解促進を図るものである。

(2) 研修

ア 組織概要

- ・役員→理事長 理事3人 監事2人
- ・事業規模→令和7年度収入額 332億円
- ・人員構成→研究職、事務職など計944名

イ 事業所

- ・東京に事務所を持ち、全国5ヶ所に研究機関がある。

ウ 事業規模

- ・毎年運営交付金が国から降りてくるが、この金額が全体に占めるウエートが高いため非常に重要な部分となる。300億円位

エ 第4期中長期目標

- ・第3期海洋基本計画等に定められた施策を着実に実行する。5つの研究開発課題に取り組む。

オ 長期経営エコシステム

- ・研究、運用、技術、事務部門がうまく機能していく。

カ 船舶の概要

- ・各研究開発課題と連携し、計画達成に必要な最適な研究船の稼働に努める。

キ 無人探査機・潜水艦の概要

- ・深海底の多様な海洋環境をより詳しく探査、調査する。

(3) 最近のトピックス

○ トピック1 「みらいⅡ」の概要

- ・氷海域を含む様々な海域におけるオールラウンドな観測研究機能の実装
- ・各国とも連携しながら観測を行う。

○ トピック2 超巨大地震震源断層の強度回復・応力蓄積過程の解明

- ・津波を起こした断層はどのように強度を回復し、次の地震の準備を始めるかを解明していく。

○ トピック3 JAMSTECの海洋STEAM教育

- ・社会課題解決型の次世代海洋人材育成を体系的に実施していく。
- ・八戸モデルをベースとして全国規模で広がり始めている。

- トピック4 サンプルリターンの加速により解決すべき研究課題
 - ・それぞれの採取された対象から調査研究が必要な分野が多くある。
 - ・支援母船の老朽化に伴い、「超深海」探査母船構想がある。特長の異なる各種探査機を搭載し、調査対象・目的等により、適切な組み合わせで各種探査機を連続又は同時運用することで、最高効率のサンプルリターンを目指す。

【研修会写真】



▲説明する菊池氏



▲研修の様子



▲研修の様子

2 所感

説明の中に、国からの運営費交付金が大きなウェイトを占めるというお話があった。この予算によって人員を削減しなければなくなったり、事業規模を縮小せざるを得ない場合も出てくるということであった。船舶や探査機の老朽化により、更新ができずこれからの研究が滞るようであってはならない。是非、国にはしっかりとした研究調査のための予算を確保していただき、海洋研究開発機構には今後の持続可能な地球、日本のために貢献いただくことを願うものである。STEAM教育についてもさらに八戸を起点として広がりを見せていることは喜ばしいことであり、この海洋教育を通して次世代を担う海洋人材が多く育成されることを願い、私ども市議会議員連盟もしっかりと支援をしていきたい。

講師名刺



国立研究開発法人 海洋研究開発機構

技術研究開発部門
システム研究開発センター
探査システム開発グループ

グループリーダー代理 中 谷 武 志
博士 (工学)

横須賀本部
〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町2番地15
電話 (046) 867-9442 (直通)
FAX (046) 867-8915
E-mail: tnakatani@jamstec.go.jp
URL: <https://www.jamstec.go.jp/j/>

この名刺は再生紙を使用しています。



国立研究開発法人 海洋研究開発機構

監 事 菊 池 聰

横須賀本部
〒237-0061
神奈川県横須賀市夏島町2番地15
電話 (046) 867-9000(秘書室)
FAX (046) 867-9005
E-mail: kikuchi@jamstec.go.jp
URL: <https://www.jamstec.go.jp/j/>

東京事務所
〒100-0011
東京都千代田区内市町2丁目2番2号
(富国生命ビル23階)
電話 (03) 5157-3900
FAX (03) 5157-3909
この名刺は再生紙を使用しています。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年9月16日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和7年9月24日（水）
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構報告会
「JAMSTEC2025」
- 5 支出可能額（上限額） 40,960円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【坂本美洋議員】

旅行日程			旅費計算の基礎					
行	日	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	9/24	本八戸駅発 9:50	区分	基数	単価	金額	備考	
き	9/24	有楽町駅着 13:25						
帰	9/24	有楽町駅発 17:59	区分	基数	単価	金額	備考	
	り	9/24						本八戸駅着 21:29
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	638.8k	9,790	17,620	本八戸⇄有楽町（往復）	
			急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					2	△200	△400	閑散期割引（9/24）
			急					
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
宿泊料								
小計						40,960		
合計（小計×人数）						40,960	1名	

自民クラブ 視察行程

- ・ 日程：令和7年9月24日（水）
- ・ 場所：東京都千代田区
- ・ 出席者：自民クラブ 坂本 美洋 議員

月 日	行 程
9月24日 (水)	<p>海洋研究開発機構報告会「JAMSTEC2025」</p> <p>○時間：14:30～17:45</p> <p>○場所：東京国際フォーラム ホールB7（東京都千代田区丸の内3-5-1）</p> <p>9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → 9:59着/10:17発 (はやぶさ14号) → 東京 → 13:04着/13:23発 (JR山手線) → 有楽町 → 13:25着/13:30発 (移動) →</p> <p>14:25着/17:50発 東京国際フォーラム (移動) → 有楽町 → 17:55発/17:59発 (JR山手線) → 東京 → 18:01着/18:20発 (はやぶさ37号) → 八戸 → 21:08着/21:21発 (JR八戸線) →</p> <p>21:29着 本八戸</p>

令和7年10月21日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋 

調査視察等報告書

令和7年9月16日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|--------------|
| 1 旅行者 | 坂本美洋 議員 |
| 2 期間 | 令和7年9月24日（水） |
| 3 場所 | 東京都千代田区 |
| 4 行程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 32,050円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |

自民クラブ 視察行程

- ・ 日程：令和7年9月24日（水）
- ・ 場所：東京都千代田区
- ・ 出席者：自民クラブ 坂本 美洋 議員

月 日	行 程
9月24日 (水)	<p>海洋研究開発機構報告会「JAMSTEC2025」</p> <p>○時間：14:30～17:45</p> <p>○場所：東京国際フォーラム ホールB7（東京都千代田区丸の内3-5-1）</p> <p>9:50発 本八戸 → (JR八戸線) → 八戸 → (はやぶさ14号) → (はやぶさ14号) → 東京 → (JR山手線) → 有楽町 → (移動) → 13:25着/13:30発</p> <p>14:25着/17:50発 東京国際フォーラム (JAMSTEC報告会) → (移動) → 有楽町 → (JR山手線) → 東京 → (はやぶさ37号) → 八戸 → (JR八戸線) → 21:08着/21:21発</p> <p>17:55発/17:59発 18:01着/18:20発</p> <p>21:29着 本八戸</p>

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	3-8
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2025年 9月23日

坂本美洋 様

金32,050円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸802 No.000017



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

国立研究開発法人海洋研究開発機構報告会「JAMSTEC2025」報告書

- 1 日時 令和7年9月24日(水)
- 2 場所 東京国際フォーラムホールB7 (Bブロック7F)
- 3 視察項目 「JAMSTEC2025」報告会
- 4 対応者 ① JAMSTEC理事長 大和裕幸氏
② JAMSTEC監事 菊池聰氏

5 視察概要

最初に大和裕幸理事長から

- ① JAMSTEC第4期中長期計画の集大成となる最終年度であること
- ② 最新のAIや通信技術を導入し、広範な海洋科学研究の効率や精度の数百倍アップを目指して技術開発部を再編したこと
- ③ 企画部門、経営部門の2部門体制とし、技術開発と事務を部門化することで、さらなる飛躍のための組織が整うこと
等の報告があった。

その後理事の小平秀一氏から「第4期中長期計画における研究開発活動の報告」があり、主に今中長期計画におけるJAMSTEC全体の総合報告があった。

つづいて理事の河野健氏から「みらいから『みらいII』へ」と題して講演があり、JAMSTECの海洋地球観測を支えてきた「みらい」は本年12月に退役し、28年間の任務を終える。そして新たな北極地域研究船「みらいII」への期待についての紹介があった。

次に海域地震火山部門センター長の堀高峰氏の「いま、海底下で何が起きているか？南海トラフ巨大地震への準備過程とゆっくりすべり」と題して講演があった。

第2部の(1) 超先鋭研究開発部門 超先鋭研究開発プログラム

プログラム長代理の野牧秀隆氏の「深海サンプルリターンが描き出す深海の姿」と題して講演があり、深海の調査研究には「しんかい6500」をはじめとしたJAMSTECの調査船、探査機によって生物や堆積物、岩石試料などを深海底から持ち帰る「サンプルリターン」が極めて重要であると研究者の立場での報告があった。

第2部の(2) 技術研究開発部門、部門長 志村拓也氏

新船建造プロジェクト準備室 室長 難波康広氏

による「今後求められる深海探査システム」と題して「超深海」探査母船の構想を含めた新たな深海探査システムの展望についての報告があった。

(所 感)

日本を代表するJAMSTECの活動記録の報告を聞いて素晴らしいと感じた。世界を

リードする事業の中で、確実に成果を出し続けていることに敬意を表したい。また、この度令和6年12月に実施したIODP国際深海科学掘削計画第405次航海「JTRACK」において海洋科学掘削の最長記録であるドリルパイプ長7,906mを達成した地球深部探査船「ちきゅう」のドリルピットが会場に展示してあり、また「最も深い海洋科学掘削」としてギネス世界記録の認定授与式が執り行われ、それに参加、立ち会えたことに感慨を覚えた。今後のさらなるJAMSTECの活躍を期待したい。



JAMSTEC000199V

地方公共団体

八戸市議会
坂本 美洋

開催概要

主催: 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
日時: 2025年9月24日(水)
会場: 東京国際フォーラム ホールB7
(東京都千代田区丸の内3丁目5番1号)

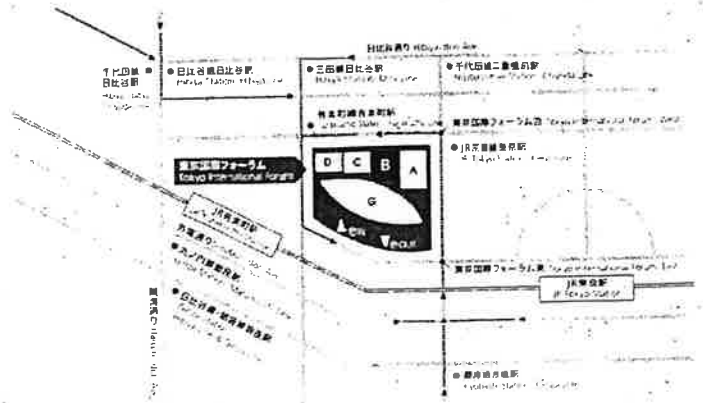
アクセス: JR線

- ・有楽町線より徒歩1分
- ・東京駅より徒歩5分
- (京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

地下鉄

- ・有楽町線: 有楽町駅 (B1F地下コンコースにて連絡)
- ・千代田線: 二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
- ・丸ノ内線: 銀座駅より徒歩5分
- ・銀座線: 銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分
- ・三田線: 日比谷駅より徒歩5分

交通のご案内: Access



ご参加のお申込みありがとうございます。

本報告会は事前登録制です。
当日登録の場合はお席が空いていれば参加可能です。

【来場証について】

本来場証をA4サイズでプリントアウトいただき、
当日に会場の受付までご持参ください。会場内では、
本来場証を名札としてご使用ください。

【注意事項】

- ・講演内容、時間等に変更になる場合がございます。
 - ・最新の詳細情報は随時ホームページをご確認ください。
 - ・会場内では主催者による撮影が行われます。
- 個人が特定できないよう配慮したうえで、会場内風景、
講演風景等を撮影し、WEBサイトや各種印刷物に利用
させていただく場合があります。

【主催/問い合わせ先】

国立研究開発法人海洋研究開発機構
企画部門 海洋科学技術戦略部 対外戦略課
海洋研究開発機構 報告会「JAMSTEC2025」担当
E-mail: annual_report_meeting@jamstec.go.jp



国立研究開発法人 海洋研究開発機構

監事 菊池 聰

機構本部
〒237-0061
神奈川県横浜市長谷町2番地15
電話 046-867-9000(秘書室)
FAX 046-867-9005
E-mail: kikuchis@jamstec.go.jp
URL: <https://www.jamstec.go.jp/j/>

東京事務所
〒100-0011
東京都千代田区内幸町2丁目2番2号
(富国生命ビル23階)
電話 03-5157-3900(代表)
FAX 03-5157-3903
この名刺は再生紙を使用しています。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年9月16日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和7年10月27日（月）
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 ・第19回地域医療政策セミナー
- 5 支出可能額（上限額） 41,360円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

【坂本美洋議員】

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	出発	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	10/27	八戸駅発	8:11	区分					
き	10/27	四ツ谷駅着	11:29	早見表					
帰	10/27	四ツ谷駅発	17:10						
り	10/27	八戸駅着	20:34						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	638.5k	9,790	17,620	八戸⇄四ツ谷（往復）	
				急行料金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					急				
				特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				宿泊料					
								小計	
				合計（小計×人数）		41,360	1名		

自民クラブ 視察行程

- ・ 日程：令和7年10月27日（月）
- ・ 場所：東京都千代田区
- ・ 出席者：自民クラブ 坂本 美洋 議員

月日	行程
10月27日 (月)	<p>8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:18発 東京 → (JR中央線) → 11:29着 四ツ谷 → (移動) →</p> <p>13:00～16:40 都市センターホテル → (移動) → 17:10発 四ツ谷 → (JR中央線) → 17:20着/17:44発 東京 → (はやぶさ65号) →</p> <p>20:33着 八戸</p>

令和8年1月26日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美



調査視察等報告書

令和7年9月16日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- | | |
|-------|---------------|
| 1 旅行者 | 坂本美洋 議員 |
| 2 期間 | 令和7年10月27日（月） |
| 3 場所 | 東京都千代田区 |
| 4 行程 | 別紙のとおり |
| 5 支出額 | 28,920円 |
| 6 概要 | 別紙のとおり |

自民クラブ 視察行程

- ・ 日程：令和7年10月27日（月）
- ・ 場所：東京都千代田区
- ・ 出席者：自民クラブ 坂本 美洋 議員

月 日	行 程
10月27日 (月)	<p>8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:18発 東京 → (JR中央線) → 11:29着 四ツ谷 → (移動) →</p> <p>13:00～16:40 都市センターホテル → (移動) → 17:10発 四ツ谷 → (JR中央線) → 17:20着/17:44発 東京 → (はやぶさ65号) →</p> <p>20:33着 八戸</p>

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	4-8
領収書等貼付欄					

領 収 証

2025年10月22日

坂本美洋 様

金28,920円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000009

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

第19回 地域医療政策セミナー報告書

- 1 日時 令和7年10月27日(月) 午後1時
- 2 場所 都市センターホテル3F「コスモスホール」
- 3 主催 全国自治体病院経営都市議会協議会
- 4 対応者 全国自治体病院経営都市議会協議会 会長 金沢市議会議長 前 誠一氏
金沢市議会事務局長 上出憲之氏

講師 厚生労働省 大臣官房審議官 榊原 毅氏

講師 東京科学大学 大学院 医歯学総合研究科 教授 相田 潤氏

5 セミナー概要

「地域医療をめぐる諸課題について」

厚生労働省 大臣官房審議官 榊原 毅氏

「我が国の医療保険制度について」

特に国民皆保険制度の特徴について。

- ① 国民全員を公的医療保険で保障
- ② 医療機関を自由に選べる（フリーアクセス）
- ③ 安い医療費で高度な医療
- ④ 社会保険方式を基本としつつ皆保険を維持するために公費を投入

「医療保険制度別の財政の概要について」

それぞれの年齢構成による医療費の違い等による財政負担を調整する仕組みになっている。

- ① 協会けんぽ
- ② 組合保険
- ③ 共済組合
- ④ 市町村国保
- ⑤ 後期高齢者

「地域医療構想について」

中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え医療機関の機能分化連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的としている。また、医師偏在対策について、2025年以降の人材確保がますます課題となる。参考として、現在の診療所医師数と2040年の見込み数を挙げた。

北海道 3,384名	⇒	1,786名	東北 6,229名	⇒	2,899名
関東 37,596名	⇒	22,011名	中部 17,311名	⇒	8,938名
近畿 19,659名	⇒	10,185名	中国 6,831名	⇒	3,194名
四国 3,245名	⇒	1,414名	九州 13,093名	⇒	6,642名

大幅な減少で大変なことだと感じた。

最後に医療DXについての説明で、マイナ保険証利用案が示された。

「健康の社会的決定要因の視点から地域の健康を考える」

東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 教授 相田 潤氏

私たちの行動や健康は、多様な社会的決定要因の影響を受けている。

「健康を支える、守ための社会環境の整備」の目標設定の考え方
健康寿命の延伸、健康格差の縮小のために必要なこと。

- ① 生活の質の向上
- ② 社会環境の質の向上

健康な社会規範の普及、禁煙のソーシャルワークを通じた広がり、友達の友達の友達まで広がる禁煙が必要。友人がいたり、人との交流やソーシャルサポートは禁煙と同じくらい死亡リスクを低下させる。成人の予防的な歯科受診は所得による格差があり、低所得者ほど受診していない。

子ども若者白書によると、小学生、中学生に対する就学援助の状況では、就学援助率は7人に1人程度で高止まりしている。日本の相対的貧困率は国際的に高い。(6~7人に1人が貧困)。ただしひとり親世帯は約45%が貧困である。

集団フッ素化合物洗口の普及率と平均むし歯治療費については相関関係があり、歯の喪失による口腔機能の低下は認知症のリスクを増加させる。

「認知症の14の変更可なりリスク要因」

- ① 教育歴の少なさ
- ② 聴覚障害
- ③ LDLコレステロール
- ④ うつ病
- ⑤ 外傷性脳損傷
- ⑥ 運動不足
- ⑦ 糖尿病
- ⑧ 喫煙
- ⑨ 高血圧
- ⑩ 肥満
- ⑪ 過度のアルコール摂取
- ⑫ 社会的孤立
- ⑬ 大気汚染
- ⑭ 視覚障害

〈 所 感 〉

榊原先生の講演では、日本が世界に誇れる国民皆医療保険制度の役割についての説明にあらためて想いを深くし、これからもこの制度を守っていかなければならないと強く感じた。地域医療構想のなかで医師不足の地域別予想が示されたが、2040年で半分に減少するというのに驚いた。地域医療の中核は医師が要だと思うので、厚生労働省においてはしっかり対策を今から考えて欲しい。相田先生の講演では、「健康寿命の延伸、健康格差の縮小のために」が大変参考になった。日本の貧困率が国際的に高いことに驚いた。また「認知症の14の変更可なりリスクの要因」も初めて知り勉強になった。



金沢市議会

議長
前
誠
一

〒920-8577

金沢市広坂一丁目一番一号
TEL(076)220-1240
FAX(076)260-1719

 Institute of
SCIENCE TOKYO

大学院医学総合研究科
歯科公衆衛生学分野 / 教授 / 博士(歯学)



国立大学法人 東京科学大学
〒113-8549 東京都文京区湯島 1-5-45
電話:03-5803-5475 FAX:03-5803-0194
MAIL: 



議会事務局 事務局長

上出憲之
KAMIDE Noriyuki



金沢市
113-8577



五感に
ごちそう
かなざわ

〒920-8577 金沢市広坂一丁目1番1号
電話 076-220-2015 Fax 076-260-7190
E-mail: kamide_n@city.kanazawa.lg.jp

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月17日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當 正男



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 日當 正男 議員
- 2 期間 令和8年1月21日(水) ~ 令和8年1月22日(木)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 目的及び内容 地方議員研究会セミナー
- 5 支出可能額（上限額） 54,860円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎							
行き	1/21	八戸駅発、13:40	区分	基数	単価	金額	備考			
	//	新宿駅着、17:01	早見表							
帰り	1/22	新宿駅発、16:52								
	//	八戸駅着、20:12								
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃		642.2k	9,790	17,620	八戸⇄新宿（往復割引）、 ※東京都区内のため、 八戸⇄東京 631.9k で計算		
			急行料金		2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
			特急		2	△200	△400	閑散期割引（1/21, 1/22）		
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
			航空運賃							
			バス運賃							
			宿泊料		1	13,900	13,900	1/21 東京都内泊		
			小計						54,860	
			合計（小計×人数）						54,860	1名

地方議員研究会セミナー 行程

・日程：令和8年1月21日（水）～22日（木）

・場所：東京都新宿区

【日當 正男 議員】

月日	行程	宿泊地
1月21日 (水)	<p>13:40発 八戸 → (はやぶさ22号) → 東京 → (JR中央線) → 新宿 → (移動) → 宿泊先 → 17:01着 新宿 → (移動) → 宿泊先</p>	東京都内
1月22日 (木)	<p>地方議員研究会セミナー リアレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）</p> <p>10:00～16:00 リアレンス西新宿大京ビル（セミナー）</p> <p>16:52発 新宿 → (移動) → 16:52発 新宿 →</p> <p>17:05着/17:20発 東京 → (はやぶさ35号) → 八戸 → (JR中央線) →</p>	

令和8年2月19日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當正男



調査視察等報告書

令和7年12月17日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 日當正男 議員
- 2 期間 令和8年1月21日(水)～令和8年1月22日(木)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 行程 1月21日 八戸～JR～東京～JR～新宿
1月22日 新宿～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 35,410円
- 6 概要 別紙のとおり

活 動 記 録 簿

会派・議員名 自民クラブ 日當 正男

項 目	研修費			
年 月 日	令和8年1月22日（木）			
場 所	リファレンス西新宿大京ビル （東京都新宿区西新宿7丁目21-3）			
相 手 方	主催：地方議会議員研究会 （神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28）			
参加者氏名	日當 正男			
目的・内容・ 結果等	講師：川本達志 地方議員研究会統括コンサルタント 元・廿日市市副市長 内容 ・持続可能な財政の課題 ・インフラ老朽化の課題			
経 費	費 目	内 容	金 額	備 考
	参加費	セミナー参加費	30,000円	
	交通費		26,100円	
	宿泊費		9,310円	
			円	
	合 計		65,410円	
備 考				

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	5-3
領収書等貼付欄					



toyoko inn

領 収 書

ヒナタマサオ様

領収金額 ¥9,310

(含む 消費税)
以下にて領収いたしました

◆ご利用明細◆

2026/01/21	宿泊料	¥9,310
10%対象	¥9,310 (内 消費税額	¥846)

◆お支払い明細◆

現金	¥9,310
----	--------

創業40周年
東横INNクラブカード会員さま
ご愛顧感謝キャンペーン



東横INN池袋北口1
TEL: 03-5960-1045 FAX: 03-5960-1046

印紙税申告納
付につき蒲田
税務署承認済

発行元
株式会社東横イン
東京都大田区新蒲田1丁目7番4号

登録番号: T8010801008365
取引番号: 2260151721

2026/01/21 17:27

日置正男様

領 収 証

2025年12月29日

金26,100円

ただし、乗車券類 1月21日・22日入戸〜東京在籍代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。
適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 19011001029597

餃401 No.0000002

納 税 務 署 認 済
告 発 承 認 済
付 に つ き 蒲 田
印 紙 税 申 告 納

ないよ

地方議員研究会セミナー

- ・日時 令和8年1月22日(木) 10:00~12:30
令和8年1月22日(木) 13:30~16:00
- ・場所 リファレンス西新宿大京ビル (東京都新宿区西新宿7丁目21-3)
- ・参加者 日當 正男 (自民クラブ)

研修概要

- ・講師 川本達志
(地方議員研究会統括コンサルタント 元・廿日市市副市長)

内容

☆持続可能な財政の課題 (10:00~12:30)

「破綻寸前?あなたの自治体は持続可能か」

次のように説明があった

第1章 「財政のリアル」見落とされている 隠れ借金

- 健全な財政とは何か
- 財政状態の4象限モデル
- 財政健全化判断比率とその他の財政指標 (北見市決算カードより)
- 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の概要
- 北見市の収支状況
- 黒字、赤字って何?
- 北見市収支見通し総括表
- 決算カードの構造 財政指標と収支状況
- 自治体(市町村)の性質別歳出内容
- 地方公共団体の財源を特性によって「見える化」する
- 事務事業の実施には一般財源が必須(一般財源が不足するとやるべき事業ができない)
- 北見市性質別歳出の状況
- 経常収支比率は、財政の弾力性(財政運営の自由度)を表す指標

○北見市財政状況資料集（令和5年度）

○黒字決算で安心？

○自治体財政が詰む典型パターン

第2章 「国の支援に頼るな」地方自治体の自立財政への道

○なぜ「自立財政」が必要なのか

○「自立」とは何か

○増税は可能か

○ふるさと納税（一般財源だけど・・・臨時収入で常にはあてにはできない）

○長期的な財政計画（健全化のためでなく毎年度の予算決定の前提として）

○宇都宮市中期財政計画

第3章 赤字から黒字転換に成功した自治体の戦略

○自治体が赤字に陥ることは稀有

○（事例）夕張市の財政悪化と赤字膨張の経緯（財政悪化の背景、赤字膨張の要因）

○（事例）夕張市の財政再建計画～当初計画の概要

○（事例）夕張市が財政再建計画（当初）において廃止した主な事務事業

第4章 「明日の議会で使える」財政質問の具体例

○経常収支比率の比較による財政硬直化への質問

○実質単年度収支の推移から財政健全化を問う

○財政調整基金現在高に着目した将来リスクへの質問

○地方債現在高・公債費負担比率から将来負担を問う

○住民一人当たりコストの比較による行政サービスの効率性検証

☆インフラ老朽化の課題（13：30～16：00）

～インフラ崩壊寸前～

—その時、あなたの街は守れるか—

第1章 「インフラの危機」見過ごされている老朽化リスク

○インフラの定義と種類

○建設後50年以上経過する社会資本の割合

○笹子トンネル崩壊事故

○上下水道管破裂事故

○有形固定資産償却率（老朽化率）令和4年度財政状況資料集より

○インフラ老朽化の影響

第2章 「予算がない」限られた財源でインフラを維持する方法

○現在の老朽化の状況

○削減は努力論でなく前提条件

- 公共施設等総合管理計画
- 個別計画
- 公共施設再配置の財政課題
- 機能保全対策による施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減
- 交付金・補助金
- 地方債（集約化・複合化事業、長寿命化事業、転用事業、立地適正化事業、ユニバーサルデザイン化事業、除去事業）
- 公共施設等適正管理推進事業債（集約化・複合化事業）の拡充
- 対象となる事業例

第3章 「提案力を鍛える」

「修繕か更新か廃止か」の意思決定を議会が問われる時代

～議員が知るべきインフラ整備の基礎～

- インフラの整備手順と意思決定フロー
- 老朽化対策の標準メニュー
- ライフサイクルコスト（LCC）、アセットマネジメント（資産管理）
- 民間活用（PPP/PFI、コンセッション）
- コンセッションの契約内容（主な項目）、コンセッションの共通する課題とリスク要因
- 議員が押さえるべきポイント
- （参考）令和8年度地方財政対策

第4章 インフラ再生に成功するための共通点

- 現状把握と課題の「見える化」を徹底
- 庁内横断的な体制の構築
- 市民との合意形成・情報公開を丁寧に実施
- 数値目標とPDCAサイクルの構築
- 事例（経営の一体化）：広島県水道広域連合企業団
- 達成目標・指標
- 収入を増やす 廃校を活用した新交流拠点（道の駅）整備「千葉県鋸南町」
- 多機能化 吉川市立美南小学校（埼玉県）
- 統廃合と共用化 西川町西川小学校（山形県）
- 民営化（コンセッション） 浜松市の下水道コンセッション
- 民営化（PFI） PARK-PFIを活用した公園整備（沖縄県沖縄市）
- （補足）沖縄市のコザ公園PFI
- プラッツ習志野の事例（統廃合とPFI）
- （補足）プラッツ習志野

総括

今回は、昨年12月8日に発生した青森県東方沖地震により被害を受けたインフラ・施設等に関する費用等が財政に影響するだろうという思いから「持続可能な財政の課題」、「インフラ老朽化の課題」がセットになったこのセミナーを受講した。

セミナーの講師は元広島県廿日市市副市長で地方議員研究会統括コンサルタントの川本達志氏である。川本講師は広島県庁において県財政健全化計画の策定に従事したほか廿日市市において行政経営システム改革、中期財政運営方針策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などに従事した方である。その後、役所を退職したのち野村総合研究所上級コンサルタントを経て独立している。

セミナーはパワーポイントを使用し、レジメに則り自身の経験を交えて講義された。

「持続可能な財政計画」では北見市を例にして話された。

特に注目したい点を次に列記する。

- ・ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律（いわゆる財政健全化法）に基づく財政健全化指標をクリアしていれば「健全」なのか
- ・ 財政健全化法は財政の危険状態が最悪になり破綻することを防ぐ制度にすぎない
- ・ 歳出を性質別に分類するのは、見えないお金をコントロールするのに、性質別に分類することで、歳出の構造を分かりやすくするためであり仮に、実質収支が赤字になったとき、その原因は、目的別の分類だけでは分からない。他の団体と比較できるような分類をしておくことで、自団体の問題を明確にできるようなる
- ・ 残りの経常一般財源が少なくなると、普通建設事業、新規の給付（サービス）事業などに充てることができなくなる→施設が老朽化しサービスが低下する
- ・ フローを健全に（経常収支比率、公債費比率、財政調整基金残高）
- ・ ストックを軽く（将来負担比率、有形固定資産減価償却率）
- ・ 経常収支比率95パーセント超→人件費、公債費、物件費、補助費（企業会計繰出）の増加に注意
- ・ 「自立財政」が必要
- ・ 住民生活の安心、安全の確保、地域の発展、維持のために行政として持続可能な財政運営が必須
- ・ 長期的には国の財政状況悪化や人口減少により国からの支援が減るリスク

もある

- できるだけ自主財源を涵養しながら、歳出の適正化に努めていく必要がある
- 支出の適正化＝長期的な財政計画の下で、事業を取捨選択し、必要な事業を残し、優先順位の低い事業を切っていくしかない
- 10年間の長期財政計画を常備すること
- 支出内容で見ると、投資（普通建設事業）と人件費の計画
- 長期財政計画を公表すること
- 赤字から黒字に転換する特効薬的な戦略があるわけではなく、構造的な（人件費、公債費、公共施設維持管理費、繰出金など）経常経費の過剰歳出を地道に是正する以外に道はない

「インフラ老朽化の課題」で特に注目したい点を次に列記する・

- 土木インフラは2040年代に更新を余儀なくされる
- わが国の社会資本ストックは高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念される
- 今後20年間で建設後50年以上経過する施設の割合は加速度的に高くなる見込み
- 現在多くのインフラが老朽化しており、維持管理や更新が求められている
- 有形固定資産償却率（老朽化率）からインフラの老朽化がわかる
- インフラ老朽化の影響（住民生活の質の低下、公共サービスの低下、生産性の低下、物流の障害、競争力の喪失）
- 老朽化対策の必要性→適切な対策を講じることが急務だが、更新費用には限界がある
- 公共施設等総合管理計画は「あればよい計画」ではない。廃止、縮小する施設を決める計画。実行されない計画は、財政リスクを先送りしているだけ。議会は計画の実行責任を問う立場である
- ストック（財産処分の財源）はストック（公共施設整備基金）へ
- 施設を民間活用力を導入し資産として活用し、固定資産税と雇用を生み出す
- 施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減
- 交付金、補助金の活用
- 公共施設等の適正管理、地方債の活用→地方公共団体において、長期的な視点をもって施設の更新、統廃合、長寿命化などに取り組めるよう「公共施設等適性管理推進事業債」により取組を推進
- インフラの整備手順と意思決定フロー（現状の確認→評価及び課題の特定→対策の検討→財源の計画→市民への説明と合意形成→設計、工事
- 議員が押さえるべきポイント
公共施設と財政計画はあるか、実行されているか

施設整備、更新の優先順位づけの根拠は
広域化はできないか

民間との連携は検討されたか

機能の共有、多様化は検討されたか

財政負担は、財源は、将来負担は

市民に説明責任をはたしているか

・ インフラ再生に成功する共通点

何をやめたか（廃止、除去）

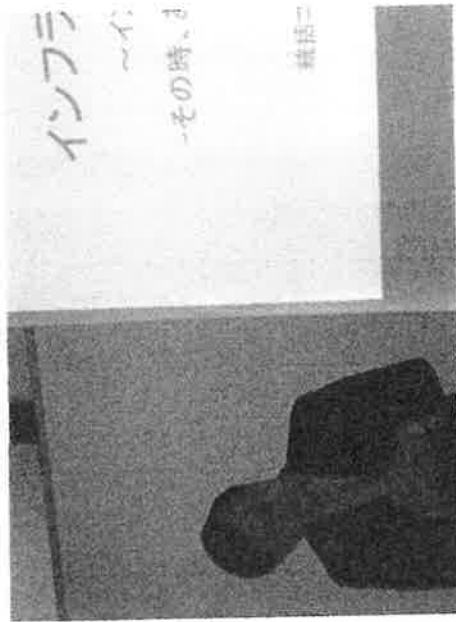
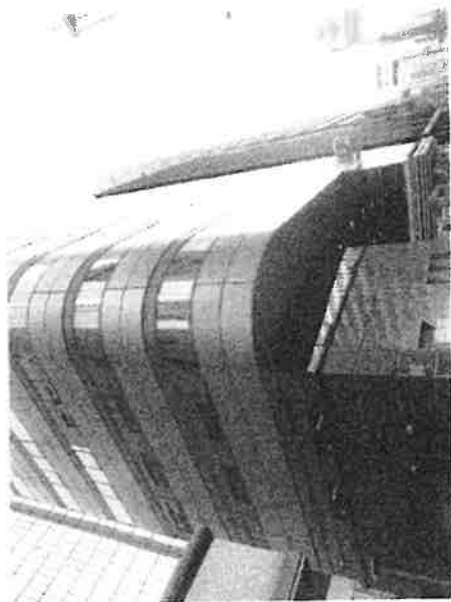
何を残したか（機能）

財政的に何が軽くなったか

今回のセミナーを受講し、インフラの維持、更新がいかに財政に影響するか理解できた。市民住民のため持続可能な財政をしていくためには、老朽化していくインフラ等をよく考え推進していかなければならない。当八戸市においても今回の地震による被害等を考慮し進めていかなければならないと思った点である。

そして今回のセミナー受講を活かし、まもなく市政施行100周年を迎える八戸市として、持続する八戸市の発展そして市民の福祉の向上に務めていきたい。今回のセミナーは大変有意義なセミナーであった。

地方議員研究会セミナー
令和8年1月22日開催（リファレンス西新宿大京ビル）



第3号様式（第6条、第8条関係）

令和7年12月17日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當 正男



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 日當 正男 議員
- 2 期間 令和8年1月29日(木) ~ 令和8年1月30日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 目的及び内容 地方議員研究会セミナー
- 5 支出可能額(上限額) 55,060円

【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎						
行	1/29	八戸駅発	13:40	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考		
き	〃	新宿駅着	17:01	早見表						
帰	1/30	新宿駅発	16:52							
り	〃	八戸駅着	20:12							
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃		642.2k	9,790	17,620	八戸⇄新宿（往復割引） ※東京都区内のため、 八戸⇄東京 631.9k で計算	
				急行料金		特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
							1	△200	△200	閑散期割引(1/29)
				急						
				特別車両料金			2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃						
				バス運賃						
宿泊料			1	13,900	13,900	1/29 東京都内泊				
小 計							55,060			
合 計（小計×人数）							55,060	1名		

地方議員研究会セミナー 行程

・日程：令和8年1月29日（木）～30日（金）

・場所：東京都新宿区

【日當 正男 議員】

月日	行程	宿泊地
1月29日 (木)	<p>13:40発 八戸 → (はやぶさ22号) → 東京 → (JR中央線) → 新宿 → (移動) → 新宿先 → 宿泊先</p> <p>16:32着/16:48発 東京 → (はやぶさ22号) → 新宿 → (移動) → 新宿先 → 宿泊先</p> <p>17:01着 新宿 → (移動) → 新宿先 → 宿泊先</p>	東京都内
1月30日 (金)	<p>地方議員研究会セミナー リアレンス西新宿大京ビル（東京都新宿区西新宿7丁目21-3）</p> <p>10:00～16:00 リアレンス西新宿大京ビル（セミナー）</p> <p>16:52発 新宿 → (移動) → 新宿 → 新宿先 → 八戸</p> <p>17:05着/17:20発 東京 → ((はやぶさ35号) → 八戸</p> <p>20:12着 八戸</p>	

第5号様式（第6条、第8条関係）

令和8年2月19日

会派名 自由クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 日當正男



調査視察等報告書

令和7年12月17日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 日當正男議員
- 2 期間 令和8年1月29日(木)～令和8年1月30日(金)
- 3 場所 東京都新宿区
- 4 行程 1月29日 八戸～JR～東京～JR～新宿
1月30日 新宿～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 37,165円
- 6 概要 別紙のとおり

領収書等貼付用紙

項目	費目	旅費	整理番号	6-3
領収書等貼付欄				

toyoko inn 

領収書

ひなた まさお様

領収金額 ¥10,925

(含む、消費税)
以下にて領収いたしました

◆ご利用明細

2026/01/29 宿泊料 ¥10,925

10%対象 ¥10,925 (内消費税額 ¥993)

◆お支払い明細

現金 ¥10,925

東横INNクラコカード加盟店
創業40周年
に感謝感謝キャンペーン



東横INN池袋北口2
TEL:03-5396-1045 FAX:03-5396-1046

印紙税申告納

付につき蒲田

税務署承認済

発行元
株式会社東横INN
東京都大田区新蒲田1丁目7番4号

登録番号:18610801008365
取引番号:2260187297

2026/01/29 15:47

ここに貼ります。

領 収 証

日 置 正 男 様

2026年 1月10日

納 告 納 谷
税 申 申 淡 承 承
紙 税 税 っ き 承 承
付 に つ き 承 承
税 務 署 認 済

金26,240円

ただし、1/29~30/八戸~東京間往復乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 19011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

較401 No.000003

活動記録簿

会派・議員名 自民クラブ 日當 正男

項目	研修費			
年月日	令和8年1月30日（金）			
場所	リファレンス西新宿大京ビル （東京都新宿区西新宿7丁目21-3）			
相手方	主催：地方議会議員研究会 （神奈川県横浜市神奈川区浦島町362-28）			
参加者氏名	日當 正男			
目的・内容・結果等	講師：木村亮太 元枚方市議会議長・政策アドバイザー 内容 ・生成AI（チャットGPT）を活用した議員活動の基礎 ・生成AI（チャットGPT）を活用した議会質問の作り方			
経費	費目	内容	金額	備考
	参加費	セミナー参加費	30,000円	
	交通費		26,240円	
	宿泊費		10,925円	
			円	
	合計		67,165円	
備考				

地方議員研究会セミナー

- ・日時 令和8年1月30日(金) 10:00~12:30
令和8年1月30日(金) 13:30~16:00
- ・場所 リファレンス西新宿大京ビル (東京都新宿区西新宿7丁目21-3)
- ・参加者 日當 正男 (自民クラブ)

研修概要

- ・講師 木村亮太 (元牧方市議会議長・政策アドバイザー)

内容

☆生成AI(チャットGPT)を活用した議員活動の基礎

次のように説明があった

○自己紹介

○生成AIのできること

- ・生成AIとは何か
- ・生成AI、ChatGPT、OpenAI・・・等、用語の整理
- ・ChatGPTの登録の仕方
- ・ChatGPTの無料プランと有料版について
- ・ChatGPTの基本的な使い方
- ・生成AIの基本

○議員活動の基本的な使い方 議会発言のための有効な使い方

- ・リサーチ、分析、壁打ち、質問案①
調査、要約、文章作成可能
- ・リサーチ、分析、壁打ち、質問案②
基礎資料の要約(過去の議事録、行政計画、審議会の答申 ①)
- ・リサーチ、分析、壁打ち、質問案③
基礎資料の要約(過去の議事録、行政計画、審議会の答申 ②)
- ・リサーチ、分析、壁打ち、質問案④
基礎資料の要約(過去の議事録、行政の計画、審議会の答申 ③)

- ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑤
先進事例の調査（他市事例 ①）
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑥
先進事例の調査（他市事例 ①）
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑦
論点の抽出（このテーマで質問する場合はどんな視点があるか ①）
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑧
論点の抽出（このテーマで質問する場合はどんな視点があるか ②）
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑨
仮の質問を作る①
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑩
仮の質問を作る②（敢えてA I出力そのまま）
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑪
論点整理した後に勝手にA Iが構成例も提示してくれている
 - ・ リサーチ、分析、壁打ち、質問案⑫
深堀する 壁打ちする
- ブログ、広報での活用方法
- ・ ブログ、広報での活用方法①
文章作成、要約が可能
 - ・ ブログ、広報での活用方法②
議会発言の内容を要約して、ブログ等で発信①
 - ・ ブログ、広報での活用方法③
議会発言の内容を要約して、ブログ等で発信②
 - ・ ブログ、広報での活用方法④
ブログのアイデア出し
 - ・ ブログ、広報での活用方法⑤
ブログのアイデア出し
 - ・ ブログ、広報での活用方法⑥
ブログのアイデア出し
 - ・ ブログ、広報での活用方法⑦
ブログのアイデア出し
 - ・ 画像生成について①
C h a t G P Tで作成
 - ・ 画像生成について②
C h a t G P Tで作成
 - ・ 画像生成について③

- ChatGPTで作成
- ・ 画像生成について④
 - ChatGPTで作成
- ・ 画像生成について⑤
 - ChatGPTで作成、議会報告用の画像も作成することが可能
- ・ 画像作成のポイント①
 - 画像生成モードにする方を活用することも可能
- ・ 画像作成のポイント②
 - 画像生成キーワード集
- ・ 画像生成についてGemini編①
 - 無料版で1日3枚程度生成可能
- ・ 画像生成についてGemini編②
 - 画像生成（インフォグラフィック）のプロンプトを入れただけの状態
- ・ 画像生成についてGemini編③
 - 調整するためには、以下のアプローチを実施
- ・ 画像生成についてGemini編④
 - 調整するためには、以下のアプローチを実施
- ・ 画像生成についてGemini編⑤
 - カラーパレット（配色の指定）の作り方
- ・ Geminiにてスライド作成も可能
- ・ 生成AI時代の議員がすべき役割と働き方（現時点）
 - 生成AIは公開されている情報をもとに回答を出力 意思決定は人間
- 議会質問・発言とは何か
 - ・ 何のために質問するのか
 - 事実確認だけの質問でなく政策提言となるような質問を
 - ・ 質問を実現させるために
 - なぜ「調査します」「検討します」になるのか
 - ・ 行政と認識を合わせる必要がある。そのために必要なこと
 - まずは共通認識が必要。5W1Hを意識して、議会発言に望む
 - ・ 具体事例を参考にかみ合うために必要な要素を確認
 - ・ 最後に
 - まちの魅力は議会、行政、市民、企業、それぞれの掛け合わせ

☆生成AI（チャットGPT）を活用した議会質問の作り方
次のように説明があった

- 生成AIを活用した行政資料の分析・要約の仕方
 - ・ 生成AIを活用した行政資料の分析・要約の仕方
 - ・ 生成AI、ChatGPT、OpenAI・・・等、用語の整理
 - ・ NotebookLMについて
オリジナルチャットボットが作成可能
 - ・ NotebookLMの使い方
「NotebookLM」と検索してアクセス
まずはソースを探す ソースを入力
右側の音声解説、動画開設を押すだけで動画生成 画像生成
レポートをクリックし、要約してもらうことも可能
ChatGPTのように質問に対して回答がある
- 財政分析 事業分析
 - ・ 財政分析のために使う財政状況資料集（と決算カード）とは
財政状況分析資料集（と決算カード）について
類似団体について
決算カード内での財政指標
AIを活用しての財政分析
AIを活用しての財政分析・議会質問案を出力
財政分析資料集のうち、「経常経費分析表（経常収支比率の分析）」チェック例
財政分析資料集のうち「目的別歳出決算分析表（住民一人当たりのコスト）」チェック例
 - ・ 生成AI（ChatGPT）の使い方（財政分析編）
 - ・ 財政分析：NotebookLM編
NotebookLMがGoogleスプレッドシート対応になったため、ExcelファイルをGoogleスプレッドに変換し分析
 - ・ 事業分析に使う、行政評価（事務事業評価）とは
行政評価の一つ。政策評価や施策評価よりも細かい事業単位での評価となる
行政評価は首長が変わるごとに廃止や復活がある
 - ・ 行政評価とは（国と地方自治体における位置づけ）
 - ・ 事務事業実績測定（事務事業評価）の見方①
目標と実績の推移に着目、今後の方向性が現状維持なのか見直しなのか
 - ・ 事務事業実績測定（事務事業評価）の見方②

目標が未達成だが、今後の方向性は「現状維持」と記載

- ・ NotebookLMの使い方（事業分析編）
行政資料をソースに入力
ChatGPTと同じようにプロンプトを入力する
- 生成AI時代に必要な政策実現力
- ・ 質問を実現させるために
必ず後追いが必要 必要なのはアンテナと根気 政策実現 根気
 - ・ 議員の本気度を伝えるために
行政計画のスケジュールに合わせる
 - ・ 行政計画の更新スケジュールの例
 - ・ 所管事務調査とは
 - ・ 所管事務調査の法的位置づけ
 - ・ 所管事務調査でやっていたこと
 - ・ 所管事務調査の結果
いち議員が取り上げるよりも委員会単位で取り上げる意義
 - ・ 視察に行く
 - ・ 繰り返し取り上げる

総括

今回のセミナーは、昨今叫ばれている生成AIについてのセミナーであった。講師は元枚方市議会議長の木村亮太氏で、講師は市議会議員当時も生成AIを使用し一般質問を行った経験を持つ。

八戸市議会においてもChatGPT等の生成AIを使用している議員もみうけられるが、私は使用していないし良く分からなかった為、今回のセミナーを受講したしだいである。

セミナーにおいては生成AIとは何ぞや。生成AIできること。生成AIの種類等基本的なことからの説明であったので分かりやすかった。

セミナーの午前からの前半、午後からの後半を通じて、生成AIを使用するとしたら、一般的なChatGPTよりもNotebookLMが現在では一番使いがってが良いとの講師の話であった。

生成AIの使い方としては資料の作成、行政資料の要約、概要説明資料の作成、一般質問書の作成そしてブログ、広報での活用が期待される。

時代は人手不足、業務多忙の為、行政側でも生成AIを使用する自治体が増えてきている。議員側としても、県議の場合、政務活動費が市議より大分多いため秘書等を雇い資料収集等ができるが、市議だと政務活動費も少ないので秘書等を雇うことができない、そのため生成AIを使用することにより秘書的業務

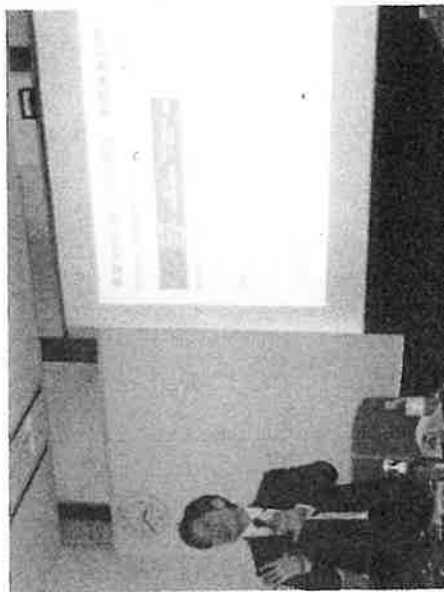
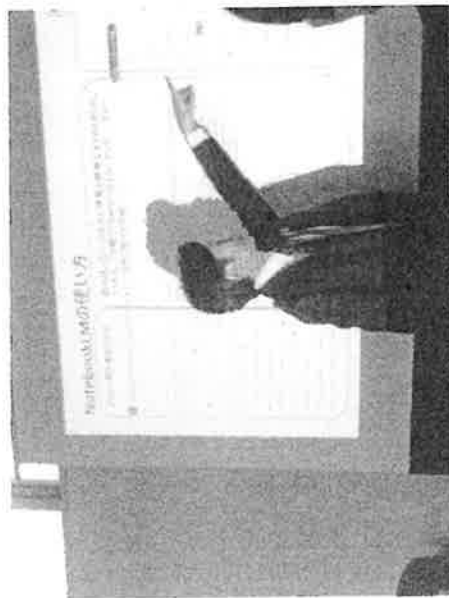
を担ってもらうことができる。生成A Iには種類によりいろいろな物があるが、いずれも無料、有料がある。初めて使用するには無料のものでも良いのではとの講師の見解。

今回の生成A Iのセミナーを受講して私も導入を検討してみたい。

セミナー受講を活かし、今後、生成A Iを使用し、益々の議会活動の推進並びに八戸市の発展、市民の福祉の向上に努めていきたい。

今回のセミナーは大変有意義なセミナーであった。

地方議員研究会セミナー
令和8年1月30日開催（リファレンス西新宿大京ビル）



政策アドバイザー/講師

木村 亮太

Kimura Ryota

公共政策修士/MBA

<https://kimura-ryota.net/>

E-Mail:contact@kimura-ryota.net

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和8年1月13日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和8年2月12日(木)～令和8年2月13日(金)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 八戸ふるさと交流フォーラム
- 5 支出可能額(上限額) 55,420円
【内訳は、旅費額計算書(第4号様式)に記載のとおり】

第4号様式 (第6条、第8条関係)

旅 費 額 計 算 書

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎					
行	日	時刻	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
行	2/12	本八戸駅発 12:46	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	2/12	永田町駅着 16:28						
帰	2/13	永田町駅発 9:52	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
	2/13	本八戸駅着 13:25						
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	638.8k	9,790	17,620	本八戸⇄有楽町 (往復割引)	
			急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
					1	△200	△200	閑散期割引 2/12
			急					
			特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			東京ト		2	180	360	有楽町⇄永田町
			宿泊料		1	13,900	13,900	東京都区内泊 (2/12)
小 計						55,420		
合 計 (小計×人数)						55,420	1名	

令和7年度 八戸ふるさと交流フォーラム 行程表

■日程 令和8年2月12日(木)～13日(金)

■場所 東京都千代田区(ルポール麹町)

■参加者 坂本 美洋 議員

月日	行程		宿泊先
2/12 (木)	<p>ルポール麹町 19:00 20:30 交流会</p>	<p>宿泊先</p>	東京都内
	<p>本八戸駅 12:46発</p>	<p>JR八戸線 八戸行 (9分) 6.1km</p>	
	<p>八戸駅 12:55着 13:07発</p>	<p>JR新幹線はやぶさ 20号 東京行 (177分) 631.9km</p>	
	<p>東京駅 16:04着 16:14発</p>	<p>JR京浜東北根岸線 大船行 (2分) 0.8km</p>	
	<p>有楽町駅 16:16着 16:24発</p>	<p>東京メトロ有楽町線 和光市行 (4分) 1.9km</p>	
	<p>永田町駅 16:28着 16:35発</p>	<p>徒歩 (5分)</p>	
	<p>ルポール麹町 17:30 18:50</p>	<p>ふるさと交流フォーラム</p>	
2/13 (金)	<p>宿泊先 9:40発</p>	<p>徒歩 (5分)</p>	
	<p>永田町駅 9:45着 9:52発</p>	<p>東京メトロ有楽町線 新木場行 (4分) 1.9km</p>	
	<p>有楽町駅 9:56着 10:03発</p>	<p>JR山手線内回り 東京上野方面 (2分) 0.8km</p>	
	<p>東京駅 10:05着 10:18発</p>	<p>JR新幹線はやぶさ 15号 新青森行 (166分) 631.9km</p>	
	<p>八戸駅 13:04着 13:17発</p>	<p>JR八戸線 数行 (8分) 6.1km</p>	
	<p>本八戸駅 13:25着</p>		

令和8年3月4日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等報告書

令和8年1月13日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和8年2月12日(木)～令和8年2月13日(金)
- 3 場所 東京都千代田区
- 4 行程 八戸～JR～有楽町～東京外口～永田町
永田町～東京外口～有楽町～JR～八戸
- 5 支出額 41,380円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	7-8(1)
領収書等貼付欄					

領 収 証

2026年 2月11日

坂本美洋 様

金28,780円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印紙税申告済
付につき渋谷
税務署承認済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

八戸802 No.000002



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご請求明細書

Amount Description

一般財団法人全国自治協会
登録番号 T7010005002819

全国町村会館
TEL 03-3581-0471
FAX 03-3581-0220

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
1206	Mr. 坂本 美洋 様	1	26.02.12 - 26.02.13(1泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
02.12	【会員】ご宿泊代 (ご朝食付)	12,500		
02.12	宿泊税	100		
02.13	クレジット[C/O]		CR 12,600	
小計 Sub Total		12,600	12,600	
(内消費税 Con.Tax ¥1,136)				
(10%対象 ¥12,500) 10%消費税額				¥1,136
(8%対象 ¥0) 8%消費税額				¥0
			ご請求額 Balance Due	
			ご返金額 Refund	

誠に勝手ながらサービス料として、お勘定の10%及び規定の税金を加算させていただきます。

5000000050 共通クレジット

ご署名
Signature _____

会社名
Firm _____

発行No. 118895
No. 202602130006
発行日 2026.02.13
05016 CR 1

一般財団法人全国自治協会
jigyo@zck.or.jp
(1/1)

一般財団法人全国自治協会
登録番号 T7010005002819

領収書 Receipt

No. 202602130006
2026.02.13

坂本 美洋 様

¥12,600

上記正に領収致しました
但、クレジット分 ¥12,600 を含みます クレジット払い

(内消費税 Con.Tax ¥1,136)
(10%対象 ¥12,500) 10%消費税額 ¥1,136
(8%対象 ¥0) 8%消費税額 ¥0

全国町村会館
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-35
TEL 03-3581-0471 FAX 03-3581-0220

調査視察等報告書

1 視察期間

令和8年2月12日(木)～13日(金)

2 視察場所

東京都千代田区

3 参加議員

自民クラブ 坂本美洋

4 調査視察等対応日時・項目等

令和7年度八戸ふるさと交流フォーラム

○日時：令和8年2月12日(木) 17:30～20:30

○場所：ホテルルポール麹町(東京都千代田区内平河町2-4-3)

【参加目的】

首都圏で活躍されている八戸特派大使や東京在住関係者との交流を通じて関係性の構築・深化を図るとともに、パネルディスカッション等を通じて、当市発展に向けた今後の施策検討につなげることを目的とする。

【開催日時等】

- 日時：令和8年2月12日（木）17：30～20：30
- 場所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町2-4-3）

【参加議員】

- ・坂本美洋

【視察概要】

第1部 フォーラム

◎市政報告（八戸市長 熊谷雄一氏）

- ・今年度のトピックス、推進計画（第7次八戸市総合計画、未来共創推進戦略2025）、さらに当市における3つのポテンシャルと取組として、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業、八戸若者力形成インターシップ事業、こどもの声を聴く機会創出事業などについて、概要説明がなされた。

◎パネルディスカッション『食のまち・八戸』の推進について」

- パネリスト：俵 慎一 氏（（一社）愛Bリーグ本部 専務理事）
- 田中 操 氏（（一社）日本食文化観光推進機構 理事）
- 熊谷 雄一 氏（八戸市長）

令和7年5月に策定した「ハマる、ハチノへ。」観光振興プランにおいて、「食のまち・八戸の推進」を一番に取組む事業としており、また新年度から「八戸食文化会議」を設置し、八戸ならではの食の取組を行うこととしていることから、アドバイザーを交え、食のまちとしてのブランド化には欠かせないポイントやその可能性に向けてパネルディスカッションを行った。

第2部 交流会

八戸市選出国會議員、八戸特派大使、八戸市スポーツ大使、地元企業関係者、出身者等各分野で活躍されている八戸市関係者の見識をうかがい、交流を深めた。

【所感】

- ・熊谷市長からの「八戸市の今年度のトピックス」で市政全体について説明があり、参加者はふるさと八戸の現状についてよく理解ができたようだった。
- ・パネルディスカッションのテーマである「食のまち・八戸」の推進に関連して、パネリストの田中操氏から、「八戸市の食はなぜ美味しいのか？」について以下の話があり、改めて当市の食に関するポテンシャルの高さを認識することができた。
 - (1) 魚の美味いまちの住民の舌は肥えている
 - (2) 人が集まるまちでは、美味しい店しか生き残れない
 - (3) 八戸は世界三大漁場を生む「3つの海流」がある
 - (4) 八戸の夜は美しい「横丁文化」で楽しい
- ・「食事がおいしい市区町村ランキング 2025」で八戸市は50位だったと知らされた。具体には、1位 札幌、2位 函館、3位 小樽、4位 福岡、5位 宇都宮で、東北は17位に仙台、18位 気仙沼、24位 盛岡、38位 石巻、41位 南三陸町、50位 八戸（昨年72位）の順であるが、前述した横丁文化をはじめ、当市の魅力を深め、発信していくことでまだまだ上位になりうる可能性があると感じており、今後の活動に取り入れていきたい。
- ・交流会では八戸市に関係のある皆様との話が印象的であり、特に総務省出身で千葉大学特任教授である牧慎太郎氏、内閣官房審議官 市川道夫氏、陸上自衛隊八戸出身で防衛陸上幕僚監部の田村秀樹氏、JAMSTEC 監事 菊池聡氏、JAMSTEC 田名部省三氏、八戸工業大学名誉教授の熊谷浩二氏らとの交流が地方自治、海洋研究、防衛等の面で大変有意義なものであり、今回の研修で得た内容を、今後の議員活動に活かしていきたい。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和8年1月9日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和8年1月23日(金)～1月24日(土)
- 3 場所 神奈川県横須賀市
- 4 目的及び内容 海洋地球研究船「みらい」退役記念式典
- 5 支出可能額（上限額）54,940円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

自民クラブ 視察行程

・ 日 程：令和8年1月23日（金）～ 1月24日（土）
 ・ 場 所：神奈川県横須賀市

月 日	行 程	宿泊地
1月23日 (金)	11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 東京 → 14:08着/14:17発 → (JR東海道本線) → 横浜 → 14:43着/14:52発 (移動) → (京浜急行電鉄・特急) → 追浜 → 15:13着/15:40発 → (移動) → 15:55着/17:45発 JAMSTEC横須賀本部 (式典※みらい講演) 18:00着/18:10発 追浜 → (移動) → 18:40着 宿泊先	横須賀市内
1月24日 (土)	8:10発 宿泊先 → (移動) → 8:40着/8:45発 追浜 → (京浜急行電鉄・特急) → 横浜 → 9:06着/9:31発 (JR東海道本線) 9:58着/10:18発 東京 → (はやぶさ15号) → 13:04着 八戸	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅行日程			旅費計算の基礎							
行き	1/23	八戸駅発 11:07	区分	基数	単価	金額	備考			
	1/23	追浜駅着 15:13	早見表							
帰り	1/24	追浜駅発 8:45								
	1/24	八戸駅着 13:04								
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃		660.7k	10,010	18,000	八戸⇄横浜(往復割引)		
			急行料金		2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k		
					急					
			特別車両料金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k		
			京急本線		2	350	700	横浜⇄追浜		
			宿泊料		1	12,500	12,500	1/23 横須賀市内		
			小計						54,940	
			合計(小計×人数)						54,940	1名

令和8年2月19日

会派名 自民クラブ
代表者名 立花敬之様

氏名 坂本美洋



調査視察等報告書

令和8年1月9日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 坂本美洋 議員
- 2 期間 令和8年1月23日(金)～1月24日(土)
- 3 場所 神奈川県横須賀市
- 4 行程 別紙のとおり
- 5 支出額 38,880円
- 6 概要 別紙のとおり

自民クラブ 視察行程

- ・ 日程：令和8年1月23日（金）～ 1月24日（土）
- ・ 場所：神奈川県横須賀市

月日	行程	宿泊地
1月23日 (金)	<p>11:07発 八戸 → (はやぶさ16号) → 14:08着/14:17発 東京 → (JR東海道本線) → 14:43着/14:52発 横浜 →</p> <p>(移動) → (京浜急行電鉄・特急) → 15:13着/15:40発 追浜 → (移動) → 15:55着/17:45発 JAMSTEC横須賀本部 (式典※みらい講演)</p> <p>18:00着/18:10発 追浜 → (移動) → 18:40着 宿泊先</p>	横須賀市内
1月24日 (土)	<p>8:10発 宿泊先 → (移動) → 8:40着/8:45発 追浜 → (京浜急行電鉄・特急) → 9:06着/9:31発 横浜 → (JR東海道本線)</p> <p>9:58着/10:18発 東京 → (はやぶさ15号) → 13:04着 八戸</p>	

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研 修 費	費 目	旅 費	整 理 番 号	8-8 (1)
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2026年 1月20日

坂本美洋 様

金28,780円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

印 紙 税 申 告 納 付 に つ き 渋谷 税 務 署 承 認 済
--

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸802 No.000017

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

請求書・領収書

RECEIPT



登録番号: T2021001043018
 〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8
 TEL: 046-827-1111
 FAX: 046-825-0837
 E-Mail: front@central-h.co.jp
 URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 805 お名前 坂本 美洋 様
 ROOM No. 805 NAME 坂本 美洋 様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2026/01/23	2026/01/24	1	2026/01/24	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	伝票番号/備考 SLIP No./NOTE	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/23	805	ご宿泊料		12,100		
01/23	805	*クーポン お支払い			2,000	10,100

消費税は1円未満切捨てで、端数処理しています。 ※は軽減税率対象品目

適用税率: 合計対価(税込) 10%対象: 12,100	お預り金 DEPOSIT 2,000	ご請求金額 BALANCE DUE 10,100	ご返金額 REFUND 0	(内消費税額) 宿掛分の消費税は含みません 10%対象: 1,100
---------------------------------	--------------------------	--	-----------------------------	--

会社名 _____
 COMPANY NAME

ご住所 _____
 ADDRESS

ご署名 _____
 SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。
 Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

JRN ※

日付 2026/01/24

領収書
 RECEIPT

お名前 坂本 美洋 様
 NAME

金額 ¥12,100
 AMOUNT DUE

10%対象合計: 12,100 10%対象消費税: 1,100

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
 We have receipt your payment.



24010024D1001002008



登録番号: T2021001043018
 〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8
 TEL: 046-827-1111
 FAX: 046-825-0837
 E-Mail: front@central-h.co.jp
 URL: http://www.central-wedding.com/

調査視察等報告書

1 視察期間

令和8年1月23日（金）～24日（土）

2 視察場所

神奈川県横須賀市

3 参加議員

自民クラブ 坂本美洋

4 調査視察等対応日時・項目等

○日時：令和8年1月23日（金）16：30～17：30

○場所：国立研究開発法人海洋研究開発機構 横須賀本部

○項目：海洋地球研究船「みらい」退役記念式典 講演

テーマ：「海洋地球研究船「みらい」の軌跡～「むつ」から「みらい」へ～」

講師：海洋研究開発機構 理事 河野 健 氏

【調査目的】

海から拓け海とともに発展してきたといわれる本市において、持続可能な地域づくりに向けた取組を進めるにあたって、市民に身近で本市の特徴的な地域資源といえる海洋を活用することは、欠かせない視点である。今回、むつ市を母港とする海洋地球研究船「みらい」が退役し、「みらいⅡ」が新たに運用されるなか、改めて「みらい」が果たした海洋研究の実績を理解し今後の本市における海洋を活用した様々な地域振興施策の実現に向けた活動に活かすとともに、むつ市を母港としている点を活かし、本市において「みらいⅡ」の活動支援や連携の可能性を探ることで、本市発展に向けた更なる施策検討につなげることを目的に実施するものである。

【調査視察概要】

◎講演内容

- ・テーマ：海洋地球研究船「みらい」の軌跡～「むつ」から「みらい」へ～
- ・講師：国立研究開発法人海洋研究開発機構 理事 河野 健

◎内容

- ・世界最大級の大型海洋観測船で「むつ」の船首部分をそのまま活用し1997年に竣工。
- ・これまで268航海、延べ8,300人以上が乗船し、地球約57週の航海距離。
- ・みらいの主な研究成果は次のとおり
 - ①エル・ニーニョ研究の発展
 - ②深層水温上昇の発見
 - ③海洋酸化研究
 - ④東北地方の水産復興
 - ⇒東日本大震災後の被災した海域の地形やがれきの分布情報を作成し地元漁業者に提供。
 - それらのデータを総合的に解析し、海洋生態系の変動メカニズムを解明。
 - ⑤東日本大震災後の環境モニタリング
 - ⇒福島第一原発事故由来の放射性物質の海洋における広がりを調査し、科学的知見から拡散状況を調査。
 - ⑥海洋資源開発
 - ⇒海底熱水鉱床を効率的・効果的に探査するための手法を開発し民間企業へ技術移転。
 - レアアースのサンプルを採取し分析。
 - ⑦北極海の海水激減メカニズムの発見

【所感】

- ・みらいは、砕氷機能を有し、北極海での活動が印象的だが、それ以外にも国際的な活動にも参加しながら様々な活動に取り組み、海洋研究の進展に欠かせない機能の一つであったと実感したところである。
- ・活動においては、東日本大震災からの水産業の復興支援に大きな貢献をしていることが印象深かった。当市を含む東北地方は幾度となく地震、津波の被害を受けてきたが、地域を支える事業者である地元漁業者の復興支援はなくてはならないものであり、その点について、科学的知見からアプローチして復興を支えていることは、非常に効果的なサポートである。
- ・活動成果の一つに「レアアース泥」の調査研究も挙げられているが、近年の国際情勢などを踏まえると、海洋に囲まれた我が国において、周辺海域に眠る海洋資源を存分に活かしていくことは、将来的にも欠かせない視点であり、今後も活動を注視していきたいと考えている。
- ・後継となるみらいⅡの活動も含め、今後の JAMSTEC の活動に注視するとともに、当市議会も加盟する「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」の活動も踏まえながら、JAMSTEC との関係をより強固なものとし、その活動成果を当市及び周辺地域の持続可能な地域づくりに向けた施策検討に活かしていきたい。